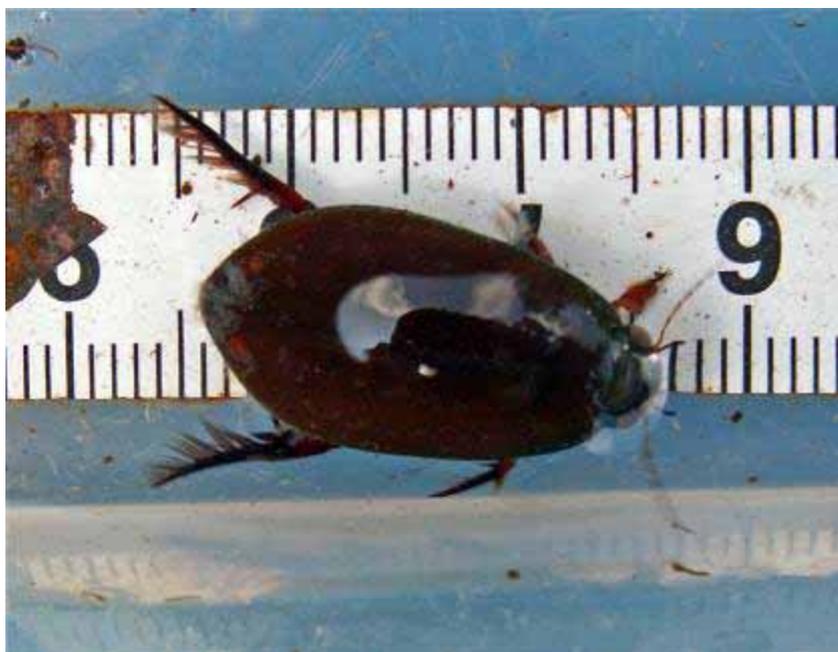


## ク ロ ゲ ン ゴ ロ ウ

*Cybister brevis*



種名

分類

甲虫目ゲンゴロウ科

形態的な  
特徴

背面の体色は緑色あるいは褐色を帯びた黒色である。腹面も脚も触角などの一部が褐色だが、ほとんどは黒色。生きている時は上翅の先に小さな赤い点が目立つが、標本ではみられなくなってしまう。

分布

本州、四国、九州に分布する。

繁殖行動

産卵は5～6月頃で、水中の水生植物の茎の中に卵を一個ずつ産みつける。ふ化した幼虫は5～8月にみられ、鋭い顎で小動物を食べる。成長した幼虫は上陸して地中でさなぎになり、8～9月頃に羽化する。成虫越冬し、成虫は一年中みられる。

生息場所

平地から低山地にかけての水生植物のよく茂った池沼、放棄水田、水田の溝、流れの緩やかな小川などに生息する。

食性

オタマジャクシや小魚などの小動物を食べる。

生息環境への  
配慮事項

かつては水田などに普通にみられていた。現在も減少の著しい他のゲンゴロウ類に比べれば比較的個体数は多い。しかし、分布が局所的であることから、現在の生息地が何らかの原因によって消失すれば一気に個体数が減少する可能性も考えられる。

その他

引用文献：[http://www.maff.go.jp/nouson/mizu\\_midori/menu/main.html](http://www.maff.go.jp/nouson/mizu_midori/menu/main.html) を改変